

承德派遣を終えて

周 春来（大学2年生）

私が承德派遣に興味を持った理由は2つ。1つ目に私は中国人であり、中国に何回か行った経験もある。ですがそれはあくまで親戚に会うのが目的の家族旅行であった。だから家族など関係なく一人として中国を客観的に体感したかった。2つ目は大学で学んだ中国語と英語がどこまで通用するのか試したかったから。

今回の派遣に向けて一ヶ月以上前からオリエンテーションを行い中国の文化、歴史、そして柏市の歴史まで普段知ることのない知識を得ることができた。だが中国の文化を耳で聞いていても実際に行ってみたら衝撃の連続であった。まずホームステイが初めてであったから初日は戸惑って変に気を使いすぎてしまった。だがホームステイ先の家族はとて優しく2日目からは我が家にいるかのように過ごせた。コミュニケーション面では英語を話せる人がたくさんいたためとても助けられた。特に文化の違いを感じられたのは食事面である。おもてなしがすごい！常に食べ物をくれた。ご飯のときは絶対に食べきれない量を提供してくれた。私は給食魂が根付いているため極力残さないようにしたから苦しんだ。

中国の学生と日本の学生とでの間では相違点が多く存在した。例えば受験に対する意識の差をとて感じた。高校3年にもなると朝早くに学校へ行き夜遅くまで自習をしていた。とても自分ではできないと思った。高校もみんな遠い所へ行き寮で暮らしてる人も珍しくなかった。全体的に学習に対する意識が高いと感じられた。

自由時間ではホームステイ先の子供と承德市内をショッピングしながら散歩してまわった。ここで市民たちのリアルな生活を見ることができた。公園で市民と卓球で交流もした。中国がなぜ卓球で強いのか少しわかった気がした。嬉しかったのは物価がとても安かったこと。予想以上に色々なものが安かったためお土産より自分のための物をたくさん買ってしまった。

今回の承德派遣を通して親族と会う以外の目的で中国に行けたことに感謝している。今後の柏市と承德市の交流の発展を願う。

